

WSD-F10

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、「クイックスタートガイド」（製品に添付）に記載されている「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

- 本機は Android™ 4.3 以上または iOS 8.2 以上が稼働しているスマートフォンやタブレット等の機器（以下「スマートフォン」）とペアで使用します。スマートフォンに搭載された OS の種類やバージョン、Android Wear™ アプリのバージョン、および本機の Android Wear OS のバージョンによっては、本機やスマートフォンの操作等がこの取扱説明書の説明と異なる場合があります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- この取扱説明書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- この取扱説明書および本製品の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えません。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、実際の製品と異なる場合があります。

目次

本機の特長	JA-4
計測機能について	JA-6
製品概要	JA-7
準備	JA-8
別のスマートフォンとペア設定したいときは	JA-11
基本操作 (Android Wear の各種操作)	JA-12
電源をオフ/オンする	JA-12
ホーム画面	JA-13
画面を復帰する	JA-13
ホーム画面のアイコン表示	JA-13
設定を使う	JA-14
通知について (カードとパイプレーション)	JA-15
電話の着信通知について	JA-18
すべての通知をブロックしバックライトを消灯する (シアターモード)	JA-18
タッチスクリーンを一時的により明るくする	JA-18
アプリを利用する	JA-19
アプリやウォッチフェイスを追加する	JA-21
スマートフォンと未接続でも使える機能について	JA-22
Wi-Fi 接続について	JA-22
スマートフォンとの接続を復帰させる	JA-23
スマートフォンの位置情報設定について	JA-23
半休止モードについて	JA-23

ウォッチフェイスについて	JA-24
ウォッチフェイスを切り替えるには	JA-24
カシオ製ウォッチフェイス	JA-24
カシオ製ウォッチフェイス関連の設定について	JA-29
ツールを使う (TOOL ボタン)	JA-33
ツールの基本操作	JA-36
ツールのカラー表示とモノクロ表示	JA-38
コンパスを使う	JA-39
気圧計を使う	JA-41
高度計を使う	JA-44
日の出日の入りを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ) ..	JA-48
タイドグラフを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)	JA-51
活動グラフを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)	JA-57
APP ボタンを使う	JA-60
アクティビティアプリを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)	JA-61
アクティビティアプリの基本操作	JA-62
計測中画面の見かた	JA-66
カシオ製アプリ/カシオ製ウォッチフェイスの共通設定	JA-69
コンパスの磁化補正を行う	JA-69
気圧補正を行う	JA-70
高度補正を行う	JA-71
モノクロ表示の設定を切り替える	JA-74

スマートフォンアプリ「CASIO MOMENT SETTER+」を活用する (Android のみ)	JA-75
スマートフォンに CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストールする	JA-76
ウォッチフェイスの切り替えと詳細設定	JA-77
TOOL ボタンとツールアプリの設定	JA-79
APP ボタンの設定	JA-81
記録の設定	JA-82
MOMENT SETTER 機能の活用	JA-83
タイムピースアプリを使う	JA-90
モノクロ液晶表示について	JA-92
エラーコード/エラーメッセージ一覧	JA-97
本機が操作できなくなったら	JA-98
使用上のご注意	JA-99
お手入れについて	JA-106
無線に関するご注意	JA-108
主な仕様	JA-110
充電式電池の取り扱いについて	JA-116
補足情報	JA-117

本機の特長

本機は「Android Wear」搭載ウォッチです。Android 4.3 以上または iOS 8.2 以上が稼働しているスマートフォンとの連携性にすぐれた Android Wear の基本性能に加え、アウトドア・ギアとしての耐久性と高い操作性を目指しました。

5気圧防水+ MIL-STD (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格) 準拠

音声認識用のマイクを内蔵しながら 5 気圧防水を実現しました。水泳や釣りなども、本機を着用したまま楽しむことができます。また MIL-STD-810G 準拠の耐環境性能により、さまざまなアウトドア・アクティビティ (登山、サイクルスポーツ、フィッシング、スキー、スノーボードなど) で使用できます。

二層構造の液晶による表現力と視認性

本機はカラー液晶とモノクロ液晶の二層構造を備えています。カシオ製のアプリでは、カラー液晶とモノクロ液晶の使い分けが可能です。モノクロ液晶は太陽光下の視認性が高いので、アウトドアでの使用時に便利です。

専用ボタンで確実な操作

押すたびにコンパスや高度計などのアウトドアで役立つ機能を順次呼び出す **TOOL ボタン**、特定のアプリを呼び出す **APP ボタン** を装備しています。TOOL ボタンで呼び出される機能の種類や出現順、APP ボタンで呼び出されるアプリを、Android スマートフォンで設定可能です。

専用アプリ「CASIO MOMENT SETTER+」でさらに便利

Android スマートフォンにインストールした「CASIO MOMENT SETTER+」(Google Play™ストアから入手可能)を使うことで、本機のウォッチフェイス切り替えや詳細な表示設定、ボタンの動作設定が可能です。さらに、「MOMENT SETTER」機能の設定をしておくことで、アウトドア・アクティビティをサポートするさまざまな通知をタイミングよく受け取ることができます。例えば登山中なら、センサー情報や位置情報に基づいて、「ゴール標高まであと 200m」のような通知を表示させることが可能です。

カメラ「EX-FR100」との連動

本機を EX-FR100 と接続し、時計からカメラを操作することができます。詳しくは、下記 Web サイトを参照してください。

<http://support.casio.com/wsd/>

計測機能について

本機には気圧、高度、方位などを計測し、表示することが可能なウォッチフェイスやアプリが搭載されています。ただし、本機は専門的な計測器ではありません。本機の各種計測機能は、目安としてお使いください。

コンパス(方位計測)

本格的な登山など、正確な方位の確認が必須となるような場面では、信頼性の高い予備の方位磁針をご用意のうえ、本機のコンパス機能と併用してください。

✔重要

- 次のような場所では、正しい計測や補正ができません。
 - 永久磁石(磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品(テレビ、パソコン、携帯電話など)の近くのような強い磁力がある場所
 - 電車、船、飛行機などの乗り物の中
 - 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内

高度計、気圧計

本機の高度計は、圧力センサーで計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。このため同じ場所で計測しても、時間の経過により気温、湿度、気圧などが変化すると、高度計の値も変化します。また、標高とは異なる値を表示することがあります。登山などでご使用いただく際は、実際にご使用いただく場所の高度(標高)に、こまめに補正しながら計測されることをおすすめします。

タイドグラフ(潮汐情報のグラフ表示)

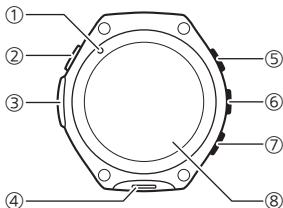
本機のタイドグラフは、あくまで潮の満ち引きの目安を表示するものであり、航海のための潮汐情報としては利用できません。航海には必ず、海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

製品概要

パッケージ内容

本体、AC アダプター、充電ケーブル、クイックスタートガイド (保証書付き)

各部の名称



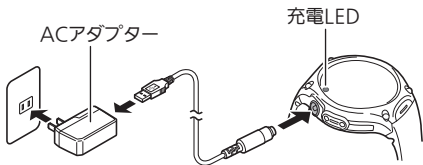
- ① 充電 LED
- ② 充電端子
- ③ 圧力センサー
- ④ マイク
- ⑤ TOOL ボタン
- ⑥ 電源ボタン
- ⑦ APP ボタン
- ⑧ タッチスクリーン

準備

「クイックスタートガイド」に記載の安全上のご注意をお読みの上、下記操作を行ってください。本機をはじめて使う前に、次の1~4の順に操作してください。

1. 本機を充電する

1. 付属の AC アダプターに充電ケーブルを接続し、AC アダプターをコンセントに接続する。
2. 充電ケーブルを本機の充電端子に接続する。
 - 充電中は、充電 LED が赤点灯します。フル充電状態で緑点灯します。
 - 充電量が一定のレベルになると、自動的に本機の電源がオンになります。



✓ 重要

- 本機の電池をより長くお使いいただくために、長期間ご使用にならない場合でも、1 ヶ月に 1 度程度の定期的な充電をおすすめします。

参考

- 準備が済んだあとの通常の使用時は、充電残量が低下するたびに、上記の操作でフル充電状態になるまで充電してください。

2. スマートフォンに Android Wear アプリをインストールする

1. Android スマートフォンの場合は「Google Play ストア」、iPhone の場合は「iTunes App Store」を開き、「Android Wear」を検索する。
2. 検索結果から「Android Wear」(Google Inc.)を選び、次画面で「インストール」をタップする。
 - 以降は画面の指示に従って操作し、インストールを完了してください。

✔重要

- 本機を iPhone とペア設定してご使用の場合は、本機へのアプリの追加インストールができないなど、本機で利用可能な機能に制限があります。詳しくは、下記 Web サイトを参照してください。
<http://support.casio.com/wsd/>

3. CASIO MOMENT SETTER+アプリをスマートフォンにインストールする(Androidのみ)

Android スマートフォンをお使いのお客様は、本機の機能を 100%ご利用いただくために、必ず「CASIO MOMENT SETTER+」アプリをインストールしてください。

Android スマートフォンの「Google Play ストア」で「CASIO MOMENT SETTER+」を検索し、インストールします。

✔重要

- CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストール直後に起動すると、「時計は準備中です」というエラーメッセージが表示されます。これは、本機に対するシステムインストール(スマートフォンへのCASIO MOMENT SETTER+アプリのインストール時に自動的に行われます)が実行中であることを表します。この間は、本機の画面が黒くなったり、タッチスクリーンの反応が極端に遅くなったりしますが、本機の故障ではありません。このような場合は、しばらく時間をおいてから、CASIO MOMENT SETTER+アプリの起動や本機の操作をお試しください。本機に「インストールが完了しました。」という通知カードが表示されるまで、お待ちください。

✓重要

- 本機の多くの機能を使用するにあたっては、本機とペア設定済みのスマートフォンが、本機と接続されていることが必要です。スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。
2m 以内が目安ですが、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。


4. 本機とスマートフォンのペア設定(ペアリング)を行う

1. スマートフォンを、本機の近くに置く。
 - ペア設定時は、スマートフォンを本機の 1m 以内に置くことを推奨します。
2. スマートフォンで Android Wear アプリを起動する。
 - お使いのスマートフォンを、すでに 1 台以上の Android Wear ウォッチとペア設定済みの場合(本機とペア設定し直す場合を含む)は、Android Wear アプリの起動後に下記操作を行ってください。

Android スマートフォンの場合:

画面左上のモデル名をタップし、続いて「新しい時計とペア設定する」をタップする

iPhone の場合:

画面右上の  をタップし、続いて「新しいウェアラブルとペア設定」をタップする

3. 本機のタッチスクリーンを右から左にスワイプする。
4. 表示される言語一覧を上下にスクロールして、使用したい言語をタップする。
5. 本機の画面に表示されるガイダンスを読みながら、順次タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
6. 本機、およびスマートフォンの画面に表示される指示に従って、操作を完了する。
 - ペア設定が完了できない場合は、下記 Web サイトを参照してください。
<http://support.casio.com/wsd/>
併せて、Android Wear アプリ画面上に表示されている「ペア設定のヘルプ」をタップして、お読みください。

別のスマートフォンとペア設定したいときは

本機は同時に2台以上のスマートフォンとはペア設定できません。別のスマートフォンとペア設定する前に、次の操作で現在のスマートフォンとのペア設定を解除してください。

1. 電源ボタンを約2秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. 画面を下スクロールして「設定」をタップする。
3. 画面を下スクロールして「スマートフォンとのペア設定を解除」をタップし、確認画面で✔️をタップする。
 - 本機が再起動します。ペア設定解除後の再起動はかなり時間がかかりますので、しばらくお待ちください。
 - この後、本機と別のスマートフォンをペア設定するには、「準備」の操作(1.~4.)を行ってください。

基本操作(Android Wearの各種操作)

ここでは、本機が OS として搭載している Android Wear の基本操作を説明します。

✔ 重要


- 本機と接続するスマートフォンの OS の種類やバージョン、本機の OS のアップデート等によって、ここでの説明とは操作が異なる場合があります。Android Wear の操作に関するより詳細な情報は、下記の Web サイトを参照してください。

Android Wear ヘルプセンター

<https://support.google.com/androidwear/>

電源をオフ/オンする

電源をオフするには

1. 電源ボタンを約 2 秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. 画面を下スクロールして「設定」をタップする。
3. 画面を下スクロールして「電源 OFF」をタップし、確認画面で  をタップする。

電源をオンするには

電源ボタンを約 2 秒間押し続けます。または本機の充電を開始すると、充電量が一定レベルに達した時点で自動的に電源がオンになります。

✔ 重要

- 電源オン直後や、スマートフォンと接続した直後は、本機を操作できなかったり、動作が不安定になる場合があります。この場合はしばらく待ってから、操作をやり直してください。

ホーム画面

ウォッチフェイス(時計)を表示中の画面を本機のホーム画面と呼び、さまざまな操作の起点となります。ホーム画面では、カードとして表示される通知の内容を見ることができます。下のスクリーンショットは、カードを表示中のホーム画面の一例です。



画面を復帰する

本機を操作していないときは、画面が暗くなります。復帰する(明るい画面に戻す)には、タッチスクリーンをタップするか、電源ボタンを押すか、ウォッチフェイスがまっすぐになるように手首の向きを変えます。なお画面が明るいときに電源ボタンを押すと、すぐに画面が暗くなります。

ホーム画面のアイコン表示

本機の状態を表すアイコンが、ホーム画面に現れることがあります。例えば次のようなアイコンがあります。

☞ スマートフォンと未接続

⚡ 充電中

⬆ 機内モードが ON

設定を使う

設定を使うことで、タッチスクリーンの明るさ調整などの設定や、スマートフォンとのペア設定解除などの操作が可能です。

設定を起動するには、次のいずれかの操作を行います。

- 電源ボタンを約 2 秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「設定」をタップする。
- ホーム画面の上端から下にスワイプし、続いて右から左に何度かスワイプして、「設定」をタップする。

設定でできることは、次のとおりです。

明るさの調整	タッチスクリーンの明るさを数段階から選びます。
ウォッチフェイスの変更	ホーム画面に表示するウォッチフェイスを選びます。
フォントサイズ	システム表示文字のサイズを、3 段階から選びます。
操作	手首の回転で本機を操作するか、しないかを選びます。
常に画面表示	この設定を OFF にすると、本機を操作していないときにはカラー液晶が消えて、モノクロ液晶による時計表示になります。
Wi-Fi	Wi-Fi を「自動」と「OFF」の間で切り替えたり、Wi-Fi を使用する場合の設定を行ったりします。
Bluetooth	周辺の Bluetooth 端末と接続してペア設定したり、接続済みの Bluetooth 端末とのペア設定を解除したりします。
機内モード	機内モードの ON、OFF を切り替えます。
ユーザー補助	画面を拡大表示する操作の有効、無効を切り替えます。有効にすると、タッチスクリーンを 3 回続けてタップした位置が拡大表示されます。元の表示に戻すときも、3 回続けてタップします。
日付と時刻	スマートフォンの日付時刻やタイムゾーン設定に、本機を自動的に同期させるかどうかを指定します。
画面ロック	画面ロックを「自動」と「OFF」の間で切り替えます。「自動」に設定すると、本機を腕から外してしばらく放置したとき、本機の画面が自動的にロックされます。ロックを解除するには、設定時に入力したパターンをタッチスクリーン上に描くことが必要となります。

画面を今すぐロック	「画面ロック」を「自動」にしたときだけ表示される項目です。本機の画面を今すぐロックします。
権限	各アプリのアクセス権限を設定します。
スマートフォンとのペア設定を解除	現在接続しているスマートフォンとのペア設定を解除し、本機を工場出荷時の状態に戻します。
再起動	本機を再起動します。
電源 OFF	本機の電源を切ります。
端末情報	ソフトウェアのバージョンやシリアル番号、規制情報など、本機固有の情報を表示します。

通知について(カードとバイブレーション)

スマートフォンからの通知(メールの受信、Google Now™による通知、アプリによる通知など)を受信すると、本機はカードを表示したり、振動(バイブレーション)したりします。実際に本機が何をどのように通知するかは、スマートフォンと本機の設定によります。

参考

- 通知に関する設定の内容や操作は、接続しているスマートフォンの OS やそのバージョン、その他各種条件によって異なります。通知設定について詳しくは、ご使用のスマートフォンのヘルプ、および **Android Wear** ヘルプセンター (<https://support.google.com/androidwear/>) を参照してください。

カードについて

さまざまな情報を通知するカードは、本機のホーム画面の下部に表示されます。メールや SMS など一度にすべての内容が表示できないようなカードの場合は、カードをタップしてから上にスワイプすることで、内容をスクロール表示できます。またカードによっては、右から左にスワイプすることで、詳細情報やカードに関連した操作ボタンが表示可能です。

別のカードを表示するには

本機が複数の通知を受信している場合は、カードを上にはスワイプするたびに順次、別のカードを表示することができます。
以前に表示したカードに戻るには、カードを下にはスワイプします。


カードを隠すには / 隠れたカードを再表示するには

先頭のカードを下にはスワイプすると、カードが隠れます (ホーム画面だけが表示されます)。隠れたカードを再表示するには、ホーム画面の下端から上にスワイプします。

通知のブロックについて

特定のアプリからの通知を届かないようにしたり、再び届くようにしたり、一時的にすべての通知をブロックしたりできます。

特定のアプリからの通知をブロックするには

1. 本機のホーム画面で、アプリから届いたカードを表示する。
2. 右から左に1度または数回スワイプして「アプリをブロック」を表示し、タップする。
3. 確認画面で  をタップする。

アプリからの通知のブロックを解除するには

1. スマートフォンで **Android Wear** アプリを起動する。
2.  をタップする。
3. 「アプリの通知をブロック」をタップする。

重要

- いずれか1つのカシオ製アプリに対して通知をブロックする操作を行うと、すべてのカシオ製アプリの通知がブロックされます。また、**CASIO MOMENT SETTER+**アプリに対する通知のブロックを解除すると、すべてのカシオ製アプリの通知ブロックが解除されます。

すべての通知を一時的にブロックするには

「すべての通知をブロックしバックライトを消灯する(シアターモード)」を参照してください。

電話の着信通知について

スマートフォンに電話着信があると、本機は着信画面とバイブレーションで通知します。連絡先に登録されている番号からの着信の場合は、発信者の名前と登録画像(画像がある場合)が表示されます。

着信を受けるには、タッチスクリーンを右から左にスワイプします。着信を受けた後の通話は、スマートフォンで行ってください。

着信を拒否する場合は、タッチスクリーンを左から右にスワイプします。

なお、あらかじめ入力したメッセージで返信することも可能です。

すべての通知をブロックしバックライトを消灯する(シアターモード)

電源ボタンをすばやく2回押すと、本機はシアターモードに切り替わります。このときバックライトが消灯してモノクロ液晶表示に切り替わり、一切の通知が届かない状態になります。

タッチスクリーンをタップしたり本機を動かしたりしても、シアターモードは解除されません。

次の操作でも、シアターモードに切り替わります。

1. ホーム画面の上端から下にスワイプする。
2. 右から左にスワイプして「シアターモード」を表示し、タップする。

シアターモードを解除するには

電源ボタンを押します。

タッチスクリーンを一時的により明るくする

電源ボタンをすばやく3回押すと、約5秒間、タッチスクリーンがより明るく点灯します。次の操作も可能です。

1. ホーム画面の上端から下にスワイプする。
2. 右から左に何度かスワイプして「明るさの強調」を表示し、タップする。

アプリを利用する

本機は初期状態で次のアプリを内蔵しています。

APP ボタン	カシオ製アプリです。本機の APP ボタンを押したときに起動するアプリを選択するのに使います。
Fit	フィットネスアプリです。歩数やアクティビティ（ウォーキング、ランニング、自転車など）のタイプ別活動時間/距離、消費カロリーを記録し、表示します。
Together	Android Wear ウォッチどうして絵文字や落書きを送受信したり、自分のアクティビティ（ジョギング中など）を相手に通知したりする、Google™のコミュニケーションアプリです。
アラーム	本機単体で動作するアラームです。設定した時刻になると、画面表示とバイブレーションで通知します。
ストップウォッチ	本機単体で動作するストップウォッチです。
スマートフォン検索	本機とペア設定されているスマートフォンの着信音を鳴らします（本機とスマートフォンが接続状態の場合のみ）。
ライト	タッチスクリーン全体が明るく点灯します。
タイマー	本機単体で動作するカウントダウンタイマーです。
タイムピース	カシオ製アプリです。モノクロ液晶で時刻だけを表示し、通知など Android Wear の機能はすべて停止します（「タイムピースアプリを使う」を参照）。
ツール	カシオ製アプリです。「コンパス」、「気圧計」、「高度計」、「日の出日の入り」、「タイドグラフ」、「活動グラフ」の機能が含まれます。
予定リスト	Android スマートフォンのカレンダーに登録されている予定を表示するアプリです。
天気	本機と接続しているスマートフォンが取得した位置情報に基づいて、現在地の天気情報を表示します。
設定	Android Wear の設定アプリです。

参考

- 本機とペア設定したスマートフォンによっては、上記のアプリの一部が現れなかったり、上記以外のアプリが現れたりすることがあります。

アプリを起動するには

1. 電源ボタンを約2秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. アプリの一覧を上下にスクロールして、起動したいアプリをタップする。

参考

- 本機のツールアプリは、TOOL ボタンを押して起動可能です。また、APP ボタンを押すと、ボタンに割り当てられているアプリが起動します。

アプリの操作例



操作例1: ストップウォッチを使うには

1. 電源ボタンを約2秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「ストップウォッチ」をタップする。
2. 計測を開始するには、▶をタップする。

操作例2: ライトを使うには

1. 電源ボタンを約2秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「ライト」をタップする。
 - タッチスクリーン全体が明るく点灯します。
 - ライトを一時的に消すには、タッチスクリーンをタップします。もう一度タップすると、再点灯します。
2. ライトを終了するには、タッチスクリーンの左端から右にスワイプするか、電源ボタンを押す。

操作例3: スマートフォンを検索するには(スマートフォンの着信音を鳴らすには)

1. 電源ボタンを約2秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「スマートフォン検索」をタップする。
2. 「着信音を鳴らします」というメッセージが表示されたら、約5秒間待つ。
 - 着信音を鳴らすのをやめる場合は、5秒以内に  をタップするか、左から右にスワイプしてメッセージ画面を消してください。
 - 鳴りはじめた着信音を止めるには、メッセージ画面の  をタップしてください。

アプリやウォッチフェイスを追加する

本機と接続している Android スマートフォンを使って、本機にアプリやウォッチフェイスを追加することが可能です。

Android スマートフォンを使って、次のいずれかの操作を行ってください。

- Android Wear アプリを起動して、「ウォッチフェイス [もっと見る]」または「基本的な時計アプリ [もっと見る]」をタップする。
- [Google Play ストア] で、「Android Wear アプリ」や「Android Wear ウォッチフェイス」を検索する。
- [Google Play ストア] で「アプリ」→「カテゴリー」→「ANDROID WEAR」の順に選択する。

重要

- 本機と iPhone を接続している場合は、Android Wear アプリを使ってウォッチフェイスの追加は可能ですが、追加できる種類に限られます。また、アプリの追加インストールはできません。

スマートフォンと未接続でも使える機能について

本機がスマートフォンと接続されていない状態でも、次の機能は利用することが可能です。

- 日付時刻の表示
- ツールの一部機能(コンパス、気圧計、高度計)
- ウォッチフェイスの切り替え
- 機内モードの ON/OFF 切り替え
- アラーム
- ストップウォッチ
- タイマー
- 歩数計の表示
- 音楽再生(本機に Bluetooth ヘッドセットが接続されており、音楽データがインストール済みの場合のみ)
- ライト
- 予定の表示(最後に同期した内容)

Wi-Fi 接続について

Android スマートフォンをご使用の場合、本機が Wi-Fi に接続されており、かつスマートフォンがインターネットに接続されていると、時計のほとんどの機能が利用可能となります。ただし、Wi-Fi 接続での利用時は、本機の電池残量や使用環境にご注意ください。電池残量が少なかったり、極端に気温の低い場所で使用したりすると、システム保護のため Wi-Fi の動作が自動的に停止する場合があります。

スマートフォンとの接続を復帰させる

まれに、本機とスマートフォンの Bluetooth 通信が切断され、接続が復帰しない場合があります。このような場合は、スマートフォンおよび本機、両方の再起動をお試しください。それでも接続が復帰しない場合は、「別のスマートフォンとペア設定したいときは」の操作で本機とスマートフォンのペア設定を解除したうえで、「準備」の手順 1 と手順 4 の操作をやり直してください。

✔ 重要

- 本機とスマートフォンのペア設定を解除し「準備」の操作をやり直す場合、本機とスマートフォンのデータ同期が行われるため、非常に時間がかかります。この作業は、スマートフォンや本機の操作をしばらく行う必要がないときに実施することをおすすめします。

スマートフォンの位置情報設定について

距離、速度、エリアの測定のほか、さまざまな機能にスマートフォンの GPS を使用するため、スマートフォンの「設定」→「位置情報」をオンにしたうえで「高精度」モードに設定してご利用ください。

ご使用のスマートフォンに「高精度」の設定がない場合は、GPS、Wi-Fi、モバイルネットワーク（データ通信）の各設定を「ON」にしてください。

半休止モードについて

本機を腕から外した状態で約 30 分間放置すると、電力消費を抑えるため、Android Wear の動作が間欠的な状態となる半休止モード（Doze モード）になります。この状態ではモノクロ液晶による時刻表示になり、スマートフォンとの通信も最小限となります。

半休止モードから通常の動作状態に復帰するには、タッチスクリーンをタップするか電源ボタンを押してください。

ウォッチフェイスについて

Android Wear 標準 12 種とカシオオリジナルデザイン 7 種、計 19 種類のウォッチフェイスがあらかじめ搭載されており、自由に切り替えて利用できます。

ウォッチフェイスを切り替えるには

1. ホーム画面の表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまでタッチスクリーンを約 2 秒間長押しする。
2. タッチスクリーンを左右にスワイプして切り替えたいウォッチフェイスを表示し、タップする。
 - この操作では、カシオ製ウォッチフェイスとその他のウォッチフェイスすべての間で切り替えが可能です。

カシオ製ウォッチフェイス

本機にあらかじめ搭載されているカシオ製ウォッチフェイスと表示内容は、次のとおりです。

表示は本機がスマートフォンと接続されている場合の一例です。

2 レイヤー

視認性のよいモノクロの液晶と、カラー表現できる液晶を使い分ける時計です。



オーセンディック

シンプルなアナログ時計です。3つのメーターが配置されています。メーターをしっかりと(やや長めに)タップするたびに、そのメーターの表示内容が切り替わります(②の24時間計を除く)。ただし、長く押しすぎると、時計が縮小表示の状態になり、異なる設定状態に移行しますので、ご注意ください(「カシオ製ウォッチフェイスに関連した各種設定を変更するには」を参照)。



- ① 高度計
- ② 24時間計
- ③ コンパス

世界時計

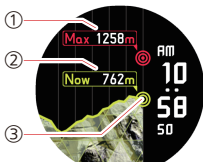
現在のタイムゾーンの時刻とホームタウンの時刻を一緒に表示します。



- ① 現在地の日付時刻と都市名(タイムゾーン名)
- ② 現在地とホーム都市の時差
- ③ ホーム都市の日付時刻と都市名(タイムゾーン名)

高度

本機で記録した最高高度と、過去 24 時間の高度変化を表現しています。



- ① 本機で記録したこれまでの最高高度
- ② 現在の高度
- ③ 過去 24 時間分の高度変化(グラフ)

フィールド

カジュアルなアナログ時計です。2つのメーターが配置されています。メーターをしっかり(やや長めに)タップするたびに、そのメーターの表示内容が切り替わります。ただし、長く押しすぎると、時計が縮小表示の状態になり、異なる設定状態に移行しますので、ご注意ください(「[カシオ製ウォッチフェイスに関連した各種設定を変更するには](#)」を参照)。



- ① 高度計
- ② 気圧計

マルチ

カジュアルなデジタル時計です。3つのメーターが配置されています。メーターをしっかりと(やや長めに)タップするたびに、そのメーターの表示内容が切り替わります。ただし、長く押しすぎると、時計が縮小表示の状態になり、異なる設定状態に移行しますので、ご注意ください(「カシオ製ウォッチフェイスに関連した各種設定を変更するには」を参照)。



- ① 高度計
- ② 気圧計
- ③ コンパス

コンビ


カラーの高度グラフとアナログ時計の針をコンビネーション表示します。



- ① 過去 24 時間分の高度変化 (グラフ)
- ② 現在の気圧
- ③ 現在の高度
- ④ 本機で記録したこれまでの最高高度

コンパスの磁化補正について

ウォッチフェイスの「オーセンティック」、「フィールド」、または「マルチ」を表示した際に「磁化補正を行ってください」というカードが表示された場合、コンパスを正確に動作させるためには、磁化補正が必要です。次の操作を行ってください。

1. 「磁化補正を行ってください」カードを右から左にスワイプする。
2.  をタップする。
3. 「補正完了」と表示されるまで、本機を装着したまま腕を前後左右に振ったり、手首を回す。
 - メッセージとともに表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。

重要

- 電池残量が 5% 未満の場合、どのウォッチフェイスを表示しているかに関わらず、本機を操作せずに画面が暗くなったときには、強制的にモノクロ液晶の時計表示に切り替わります。画面を復帰すると、元のウォッチフェイス表示に戻ります。
- カシオ製ウォッチフェイスに表示される各種データの補正操作については、「[気圧補正を行う](#)」(気圧計)、「[高度補正を行う](#)」(高度計)、「[コンパスの磁化補正を行う](#)」(コンパス)を参照してください。
- 本機を iPhone と接続してご使用の場合、ウォッチフェイスの一部の機能がご利用いただけません。

カシオ製ウォッチフェイス関連の設定について


カシオ製ウォッチフェイスに関連した設定には、カシオ製ウォッチフェイスとカシオ製アプリの間で共有されるものが数多くあります。例えばウォッチフェイスからの操作で「モノクロ表示」の設定を変更すると、その変更はカシオ製アプリにも反映されます。

ここではウォッチフェイスからの操作で、カシオ製アプリにも関連する各種の設定項目にアクセスする操作について説明します。

参考

- ウォッチフェイスのメーター切り替えについては、「[カシオ製ウォッチフェイス](#)」の「オーセンティック」、「フィールド」、「マルチ」の説明をそれぞれ参照してください。
- スマートフォンアプリ CASIO MOMENT SETTER+ (Android 版のみ) を使って、カシオ製ウォッチフェイスの表示設定(メーターへの表示内容と背景色)を変更することも可能です。詳しくは「[ウォッチフェイスの切り替えと詳細設定](#)」を参照してください。


カシオ製ウォッチフェイスに関連した各種設定を変更するには

1. カシオ製ウォッチフェイスの表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまで、タッチスクリーンを約2秒間長押しする。
2.  をタップする。
 - カシオ共通の設定メニューが表示されます。
3. 設定を変更したいメニュー項目をタップする。
 - ウォッチフェイスに応じて表示されるメニュー項目は、次のとおりです。各メニュー項目についての詳細は、それぞれの参照先をお読みください。


ウォッチフェイス	メニュー項目
2レイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ● モノクロ表示 (「モノクロ表示の設定を切り替える」を参照)
世界時計	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームタウン (「ウォッチフェイス「世界時計」のホームタウンを選択するには」を参照)
高度	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度補正 (「高度補正を行う」を参照) ● 高度をロケーションで補正※1 (「高度補正を行う」を参照) ● 高度 MAX リセット (「ウォッチフェイス「高度」と「コンビ」に表示される最高高度をリセットするには」を参照)
オーセンティックフィールドマルチ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンパス磁化補正 (「コンパスの磁化補正を行う」を参照) ● 高度補正 (「高度補正を行う」を参照) ● 高度をロケーションで補正※1 (「高度補正を行う」を参照) ● 気圧補正 (「気圧補正を行う」を参照) ● 文字板のカラー
コンビ	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度補正 (「高度補正を行う」を参照) ● 高度をロケーションで補正※1 (「高度補正を行う」を参照) ● 気圧補正 (「気圧補正を行う」を参照) ● 高度 MAX リセット (「ウォッチフェイス「高度」と「コンビ」に表示される最高高度をリセットするには」を参照)

※1 「高度をロケーションで補正」は、CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされている Android スマートフォンとの接続時のみ表示されます。

ウォッチフェイス「世界時計」のホームタウンを選択するには

1. 本機のウォッチフェイスを「世界時計」に切り替える（「**ウォッチフェイスを切り替えるには**」を参照）。
2. タッチスクリーンを約 2 秒間長押しすると現れる  をタップする。
3. 「ホームタウン」をタップする。
4. 本機と接続しているスマートフォンの種類に応じて、次の操作を行う。
 - Android スマートフォンの場合：
スマートフォンに、CASIO MOMENT SETTER+アプリのホームタウン選択画面が呼び出されます。スマートフォン側でホームタウンを選択すれば、本機に反映されます。
 - iPhone の場合：
本機の画面にホームタウンの一覧が表示されます。一覧を上下にスクロールして、ホームタウンとして選択したい都市名をタップしてください。

ウォッチフェイス「高度」と「コンビ」に表示される最高高度をリセットするには

1. 本機のウォッチフェイスを「高度」または「コンビ」に切り替える（「ウォッチフェイスを切り替えるには」を参照）。
2. タッチスクリーンを約2秒間長押しすると現れる  をタップする。
 - 次の操作を行うと同時に、本機で記録した最高高度（「高度」と「コンビ」に共通のデータ）がリセットされます。リセットするのをやめるには、ここで電源ボタンを押してください。
3. 「高度 MAX リセット」をタップする。
 - リセット後の数値は 0m ではなく、過去 24 時間の最高高度となります。

ツールを使う (TOOL ボタン)

ツールはカシオ製の内蔵アプリです。次の 6 つの機能が含まれています。

コンパス

方位の計測に利用します。



高度計

高度の計測に利用します。過去 24 時間分の高度変化をグラフで表示可能です。



気圧計

気圧の計測に利用します。過去 24 時間分の気圧変化をグラフで表示可能です。



日の出日の入り※1

現在地の日の出、日の入り時刻や方位を表示します。



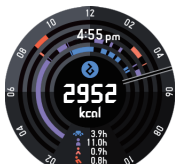
タイドグラフ※1 ※2

あらかじめ登録したポイント (港) の潮汐グラフを表示します。魚の釣れやすさの目安も表示可能です。



活動グラフ※1 ※2

今日の「静止」、「歩く」、「走る」、「乗り物での移動」それぞれの活動時間をグラフィック表示します。



※1 CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされている Android スマートフォンとの接続時のみ利用可能です。CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされていない Android スマートフォン、または iPhone と接続してご使用の場合、これらの機能は利用できません。

※2 利用するには、CASIO MOMENT SETTER+アプリを使った設定が必要です。[\[TOOL ボタンとツールアプリの設定\]](#)を参照してください。

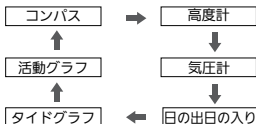
ツールの基本操作

ツールを起動するには

TOOL ボタンを押します。

ツールの機能を切り替えるには


ツールの起動中は、TOOL ボタンを押すたびに、利用可能な機能の間で切り替わります。タッチスクリーンを上下にスワイプして機能を切り替えることも可能です。



参考

- 活動グラフ、タイドグラフ、日の出日の入りは、Android スマートフォンとの接続時のみ表示されます。ただし本機の初期状態では、Android スマートフォンとの接続時であっても、活動グラフは表示されません。
- TOOL ボタンで呼び出される機能と呼び出し順は、スマートフォンアプリ CASIO MOMENT SETTER+ (Android 版のみ) で変更可能です。「[TOOL ボタンとツールアプリの設定](#)」を参照してください。

ツールに関連した各種設定を変更するには

1. ツールの起動中に、「設定」画面が表示されるまで、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
2.  をタップする。
 - カシオ共通の設定メニューが表示されます。
3. 設定を変更したいメニュー項目をタップする。
 - 表示されるメニュー項目は、次のとおりです。各メニュー項目についての詳細は、それぞれの参照先をお読みください。

メニュー項目	参照先
高度補正	高度補正を行う
高度をロケーションで補正 ^{※1}	高度補正を行う
気圧補正	気圧補正を行う
港を設定 ^{※2}	—
モノクロ表示	モノクロ表示の設定を切り替える

※1 「高度をロケーションで補正」は、CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされている Android スマートフォンとの接続時のみ表示されます。

※2 「港を設定」をタップすると、スマートフォン側で CASIO MOMENT SETTER+アプリの「タイドグラフのポイント」画面が呼び出されま
す。「[TOOL ボタンとツールアプリの設定](#)」を参照してください。

ツールを終了するには

タッチスクリーンを左から右に 1 回、または数回スワイプして、ホーム画面（ウォッチフェイス表示）に戻ります。なおツールの起動中に約 1 分間何も操作しなかった場合、ツールは自動的に終了し、ホーム画面に戻ります。

ツールのカラー表示とモノクロ表示

ツールの画面をカラー表示とモノクロ表示の間で切り替えることが可能です。屋外の強い太陽光などでカラー表示が見づらいときは、モノクロ表示に切り替えると視認性が向上します。

カラー表示とモノクロ表示の間で切り替えるには

カラー表示からモノクロ表示に切り替えるには、**TOOL** ボタンを約 3 秒間、長押しします。

モノクロ表示からカラー表示に戻すには、**TOOL** ボタンを約 3 秒間長押しするか、タッチスクリーンをタップするか、いずれかの方向にスワイプします。

コンパスを使う

コンパスは、次のように方位を表示します。

カラー表示



モノクロ表示



- ① 文字板の中心部には、本機 12 時方向の方位を表す文字*と、北を基準(0°)とした時計周りの角度が表示されます。
- ② 矢印の先端が、北の方位を指し示します。
- ③ 本機 12 時方向の方位を表す文字*です。
- ④ 北を基準(0°)とした時計周りの角度です。
- ⑤ 現在時刻です。

* 方位を表す文字は、N:北、E:東、S:南、W:西です。“NW”は北西を表します。

方向をロックするには

トレッキング中などで、ある特定の方向に進みたいようなとき、コンパスでその方向をロックすることができます。本機の 12 時方向をロックしたい方向に向け、タッチスクリーンをタップしてください。



※ 本機の 12 時方向がロックした方向からずれると、そのずれがこのように青いラインとして表示されます。

ロックを解除するには、再度タッチスクリーンをタップします。

コンパスの磁化補正について

コンパス画面の表示中に「磁化補正を行ってください」というメッセージが表示された場合は、磁化補正が必要です。磁化補正するには、本機を装着したまま腕を前後左右に振ったり、手首を回したりしてください。メッセージとともに表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに回転させるのがポイントです。磁化補正が完了すると、メッセージは消えます。

参考

- 通常、磁化補正は自動的に行われます。メッセージが表示されたときだけ、上記の要領で腕を振ってください。

磁北と真北について

本機が初期設定で示す北の方位は磁北です。真北を表示させたい場合は、Android スマートフォンを使った設定が必要です。「[TOOL ボタンとツールアプリの設定](#)」を参照してください。

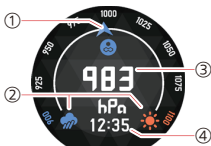
✓重要

- 本機を iPhone と接続している場合、コンパスは常に磁北を指します。真北を指すように設定することはできません。

気圧計を使う

内蔵の圧力センサーで測定した気圧を表示します。

カラー表示



気圧メーター画面



気圧グラフ画面

モノクロ表示



- ① 現在気圧を針で指し示します。周囲の目盛りは、現在気圧に応じて表示範囲が変化します。
- ② 気圧が 900～1,100hPa のときに表示されます。平地での気圧と天気の相関指標(1,000hPa あたりから気圧が上昇すると晴天傾向、下降すると曇天傾向)を表します。
- ③ 現在の気圧です。
- ④ 現在時刻です。
- ⑤ 過去 24 時間の最高気圧です。
- ⑥ 過去 24 時間の気圧変化を表すグラフ(横軸=時間、縦軸=気圧)です。右端の点が、現在値を表します。
- ⑦ 過去 24 時間の最低気圧です。
- ⑧ 過去 23 時間の気圧変化を表すグラフ(横軸=時間、縦軸=気圧)です。
- ⑨ 現在の気圧です。
- ⑩ 現在時刻です。

カラー表示の画面を切り替えるには

気圧メーター画面で右から左にスワイプすると気圧グラフ画面、気圧グラフ画面で左から右にスワイプすると気圧メーター画面に切り替わります。

気圧計測値の手動補正について

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。詳しくは「[気圧補正を行う](#)」を参照してください。

計測範囲と計測単位

本機の気圧計の計測範囲は 260～1,100hPa、計測単位は 1hPa です。

気圧計に関するご注意

- 本機が表示する気圧や気圧グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。あくまで目安ですので、公式の天気予報や報道活動のための使用は避けてください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。

高度計を使う

内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量に基づいて、相対高度を表示します。

カラー表示



高度メーター画面



高度グラフ画面

モノクロ表示



- ① 現在高度を針で指し示します。周囲の目盛りは、現在高度に応じて表示範囲が変化します。
- ② 現在の高度です。
- ③ 現在時刻です。
- ④ 過去 24 時間の最高高度です。
- ⑤ 過去 24 時間の高度変化を表すグラフ (横軸=時間、縦軸=高度) です。右端の点が、現在値を表します。
- ⑥ 過去 24 時間の最低高度です。
- ⑦ 過去 23 時間の高度変化を表すグラフ (横軸=時間、縦軸=高度) です。
- ⑧ 現在の高度です。
- ⑨ 現在時刻です。

カラー表示の画面を切り替えるには

高度メーター画面で右から左にスワイプすると高度グラフ画面、高度グラフ画面で左から右にスワイプすると高度メーター画面に切り替わります。

高度の手動補正について

本機が表示する高度と実際の標高の誤差を小さくするため、現在地の正確な標高を手動で入力する「高度補正」の操作を、こまめに実施することをおすすめします。詳しくは、「[手動で高度補正するには](#)」を参照してください。

高度計を使う前に

- 本機の高度計は、スマートフォンの位置情報 (GPS) を使い、自動で高度補正を行うことが可能です。この機能を使う場合は、スマートフォンの「設定」→「位置情報」をオンにしたうえで、「高精度」モードを選択してください (Android スマートフォンとの接続時のみ)。
- 本機が表示する高度は、気圧の変化量に基づく相対高度であるため、同じ場所においても気温、湿度、気圧などが変化すると、表示する値が変化します。また、標高とは異なる値を表示することがあります。登山などでご使用いただく際は、実際にご使用いただく場所で、こまめに高度の補正を行うことをおすすめします。
- 高度を計測するときは、できるだけ本機自体の温度を一定に保ってください。計測前に本機をしばらく腕につけたままにすると温度が安定するため、より正確な計測ができます。圧力センサーは温度変化の影響を受けると、多少の誤算が出ることがあります。

計測範囲と計測単位

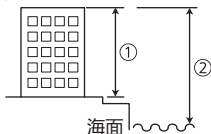
本機の高度計の計測範囲は-700～10,000m、計測単位は 1m です。

高度計に関するご注意

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプターやグライダーに搭乗中のときのように、短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- 本機で計測した高度を専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。
- 気象条件により大気圧に変化が生じたときや、気温の変化が大きいとき、時計が強い衝撃を受けたときは、正しい計測ができない場合があります。

本機が表示する高度について(相対高度)

高度の表し方には以下の2つがあります。



相対高度:

2つの場所の高さの差を表します。

例: 地面から測ったビル屋上までの高さ(①)

海拔高度(標高):

海面からの高度を表します。

例: 海面から測ったビル屋上までの高さ(②)

一般に「高度が上がるほど気圧が低くなる」ことを利用して、本機は相対高度を計測しています。本機が表示する相対高度は、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義に基づいています。

日の出日の入りを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)

現在地の日の出、日の入り時刻や方角を表示します。

カラー表示



時刻画面



方位画面

モノクロ表示



- ① 日の出時刻です。
- ② 日の出前の航海薄明開始時刻です。
- ③ 日の入り時刻です。
- ④ 日の入り後の航海薄明終了時刻です。
- ⑤ 現在時刻です。
- ⑥ 矢印の先端が、北の方位を指し示します。
- ⑦ 日の出の方位と日の出時刻です。
- ⑧ 日の入りの方位と日の入り時刻です。
- ⑨ 日の出時刻と日の入り時刻を 10 秒おきに切り替えて表示します。**RISE** は日の出時刻の表示中、**SET** は日の入り時刻の表示中を表します。
- ⑩ 現在時刻です。

カラー表示の画面を切り替えるには

時刻画面で右から左にスワイプすると方位画面、方位画面で左から右にスワイプすると時刻画面に切り替わります。

日の出日の入りを使う前に

本機能は、スマートフォンの位置情報を利用します。必ずスマートフォンの「設定」→「位置情報」をオンにしたうえで、「高精度」モードを選択してください。

航海薄明について

薄明とは、日の出前や日の入り後、太陽が水平線や地平線の下にあるときでも、空がうっすらと明るい時間帯のことです。薄明には「航海薄明」、「市民薄明」、「天文薄明」の3つの種類があります。航海薄明は、太陽高度が水平線/地平線下およそ6～12度の間にある時間帯を指します。

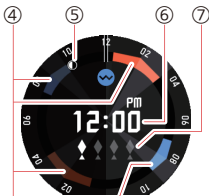
タイドグラフを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)

タイドグラフ画面は、指定したポイント (港) の潮汐情報を表示します。またフィッシングタイム画面は、現在地の月齢と月の時角に基づいて、釣りに適した時間帯を表示します。

カラー表示

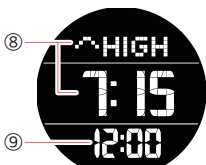


タイドグラフ画面



フィッシングタイム画面

モノクロ表示



- ① 現在時刻から 12 時間後までに発生する満潮の潮位と時刻を表示します。
- ② 現在時刻の 12 時間前から 12 時間後まで (計 24 時間分) の潮位を模式的に表したグラフです。オレンジ色の文字が現在時刻と現在の潮位を表します。
- ③ 現在時刻から 12 時間後までに発生する干潮の潮位と時刻を表示します。
- ④ 今日釣りに適していると予想される時間帯を表示します。
- ⑤ 表示位置が、現在の月の位置 (時角) を表します。また、現在の月齢に応じた月の形が表示されます。
- ⑥ 現在時刻です。
- ⑦ 魚の釣れやすさ予想を、魚マークの数で表示します。
- ⑧ 満潮時刻と干潮時刻を 10 秒おきに切り替えて表示します。**^HIGH** は満潮時刻の表示中、**^LOW** は干潮時刻の表示中を表します。
- ⑨ 現在時刻です。

カラー表示の画面を切り替えるには

タイドグラフ画面で右から左にスワイプするとフィッシングタイム画面、フィッシングタイム画面で左から右にスワイプするとタイドグラフ画面に切り替わります。

タイドグラフを使う前に

- タイドグラフ画面を使うためには、スマートフォンアプリ **CASIO MOMENT SETTER+** (Android 版のみ) を使って潮汐情報を見たいポイント(港)を指定することが必要です。「**TOOL ボタンとツールアプリの設定**」を参照してください。
- 本機はフィッシングタイム画面への表示情報を、現在地を基準に計算します。ポイント(港)指定には影響されません。このためフィッシングタイム画面は、海だけでなく川や湖でも利用することが可能です。
- タイドグラフ画面はポイント(港)、フィッシングタイム画面は現在地を計算の基準としている点にご留意ください。

フィッシングタイム画面の見かた

今現在の魚の釣れやすさ予想表示 ～ 魚マーク

フィッシングタイム画面では、今現在の魚の釣れやすさ予想を、魚マークの数で表示します。0～4匹の間で表示され、数が多いほど釣果を期待できます（ただし、釣果を保証するものではありません）。

魚マークは、現在の「月齢」と「月の位置（時角）」という2つの要素に基づいて表示します。釣りのタイミングは、月齢に関しては新月/満月が最適、上弦/下弦がそれに次ぐと言われています。月の時角に関しては、0時/12時が最適、6時/18時がそれに次ぐと言われています。これらの相関から、次のように表示しています。

	時角 0 時/12 時	時角 6 時/18 時	その他
新月/満月 ※			
上弦/下弦			
その他			

※ 月齢 26.9～28.6 および月齢 12.1～13.8 を含む。

参考

- 時角とは、天体（星や月など）のみかけの位置を表す方法のひとつです。頭上を時角 0 時として、頭上から 90°西を 6 時、真下を 12 時、頭上から 90°東を 18 時と表します。

今日の釣りに適した予想時間帯表示

フィッシングタイム画面には、月の時角が 0 時/12 時となる時刻を中心とする時間帯がオレンジ色の帯で、6 時/18 時となる時刻を中心とする時間帯が青色の帯で表示されます。これらの帯が、「今日 24 時間の中でいつ頃が釣りに適しているか」を表しています。

オレンジの帯がもっとも釣りに適していると予想される時間帯で、青の帯がそれに次ぐ時間帯です。色が薄い部分は現在時刻より前の(すでに過ぎた)時間帯、色が濃い部分は現在時刻以降の(今日これからの)時間帯を表します。帯が指す時刻は、文字板周囲の目盛りで読み取ります。12 時位置が正午、6 時位置が深夜 0 時を表します。



















- ① 月の時角 18 時を中心とする時間帯 (時角 18 時の時刻 = 08:50AM)
- ② 月の時角 12 時を中心とする時間帯 (時角 12 時の時刻 = 02:10AM)
- ③ 月の時角 0 時を中心とする時間帯 (時角 0 時の時刻 = 02:00PM)
- ④ 月の時角 6 時を中心とする時間帯 (時角 6 時の時刻 = 08:05PM)

現在の月の時角と月齢表示

フィッシングタイム画面に表示される月は、その表示位置が現在の月の時角を表し、形が現在の月齢を表します。例えば上の画面例では、現在の月の時角は 22 時 (12 時位置 = 時角 0 時、6 時位置 = 時角 12 時)、月齢は 21.3～23.1 です。

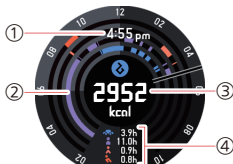
月齢に応じて表示される月の形は、下表のとおりです。

月の形	月齢	表示	満月	13.9～15.7	
新月	0.0～0.9 28.7～29.5				
	1.0～2.7			15.8～17.5	
	2.8～4.6			17.6～19.4	
	4.7～6.4			19.5～21.2	
上弦	6.5～8.3		下弦	21.3～23.1	
	8.4～10.1			23.2～24.9	
	10.2～12.0			25.0～26.8	
	12.1～13.8			26.9～28.6	

活動グラフを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)

自分が今日のいつどんな活動をしてきたかを、活動タイプ別にグラフで表示します。

カラー表示



モノクロ表示



- ① 現在時刻です。
- ② 今日 0時から現在までの自分の活動状況を、4種類の活動タイプ別に円弧状のグラフで表示します。
- ③ 今日 0時から現在までの消費カロリーを表示します (初期設定時)。歩数など、他の情報を表示するように設定することも可能です (「[TOOL ボタンとツールアプリの設定](#)」を参照)。
- ④ 今日 0時から現在までの活動時間を、活動のタイプ別に表示します。
- ⑤ 今日 0時から現在までの消費カロリーを表示します。
- ⑥ 現在時刻です。

活動グラフを使う前に

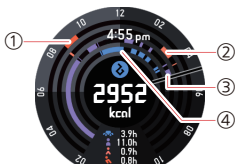
活動グラフは本機の初期設定ではオフ(○)になっており、利用するにはオン(☑)に切り替えることが必要です。また、消費カロリーをより正確に表示するためには、身体プロフィールの入力が必要です。これらの操作は、スマートフォンアプリ **CASIO MOMENT SETTER+** (Android 版のみ) を使って行います。「[TOOL ボタンとツールアプリの設定](#)」を参照してください。

☑ 重要

- 本機が表示する消費カロリーや歩数などの数値は、表示を行うアプリによって測定方法や計算方法などが異なるため、ある程度のばらつきが生じます。例えば活動グラフが表示する消費カロリーは、他のアプリが表示する消費カロリーとは必ずしも一致しません。
- 活動グラフが表示する活動タイプ別のグラフや活動時間は、本機のセンサーによって検出された動作に基づいています。このため、表示される内容が実際の活動状況とは異なる場合があります。

グラフ表示の見かた

4つの同心円が、4つの活動タイプ(静止、歩く、走る、乗り物での移動)に対応しています。あるタイプの活動をした時間帯が、色付きの円弧として表示されます。



- ① 走って移動していた時間帯です。
- ② 徒歩で移動していた時間帯です。
- ③ 静止していた時間帯です。本機を腕から外して放置していた時間帯も含まれます。
- ④ 乗り物(自転車、車、電車など)で移動していた時間帯です。

現在時刻と活動時間の表示を消すには

タッチスクリーンをタップします。現在時刻と活動時間を再表示するには、再度タッチスクリーンをタップします。

APP ボタンを使う

APP ボタンを押すと、あらかじめ設定しておいたアプリが起動します。起動するアプリを変更するには、次の操作を行います。

1. 電源ボタンを約2秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「APP ボタン」をタップする。
 - APP ボタンに割り当て可能なアプリの名称が一覧表示されます。
2. 一覧を上下にスクロールして、割り当てたいアプリ名をタップする。

アクティビティアプリを使う (Android スマートフォンとの接続時のみ)

アクティビティアプリは、カシオ製の Android Wear アプリです。3 種類のアクティビティ (登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング) について、開始から終了までの経過測定が可能です。スマートフォンアプリ CASIO MOMENT SETTER+ (Android 版のみ) とアクティビティアプリを併用すると、アクティビティに応じた便利な通知をタイミング良く受け取ることも可能となります ([[MOMENT SETTER 機能の活用](#)] を参照)。

ここではアクティビティアプリの基本操作と、各アクティビティ画面の見かたについて説明します。

✔ 重要

- アクティビティアプリをご使用の前に、スマートフォンに CASIO MOMENT SETTER+ アプリがインストールされていることをご確認ください。

アクティビティアプリの基本操作

アクティビティアプリを起動するには

電源ボタンを約2秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「アクティビティ」をタップします。

アクティビティの種類を切り替えるには

アクティビティアプリが起動しており、START 画面が表示されているとき(計測中でないとき)、タッチスクリーンを左右にスワイプします。



登山・トレッキング


フィッシング

サイクリング

参考

- 「登山・トレッキング」の START 画面が表示されているときにタッチスクリーンを左から右にスワイプすると、アクティビティアプリが終了してホーム画面(ウォッチフェイス表示)に戻ります。

アクティビティに関連した各種設定を変更するには

1. アクティビティアプリの起動中に、「設定」画面が表示されるまで、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
2.  をタップする。
 - カシオ共通の設定メニューが表示されます。
3. 設定を変更したいメニュー項目をタップする。
 - 表示されるメニュー項目は、次のとおりです。各メニュー項目についての詳細は、それぞれの参照先をお読みください。

メニュー項目	参照先
高度補正	高度補正を行う
高度をロケーションで補正 ^{※1}	高度補正を行う
気圧補正	気圧補正を行う

※1 「高度をロケーションで補正」は、CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされている Android スマートフォンとの接続時のみ表示されます。

アクティビティの計測を開始するには

1. 計測を開始したいアクティビティの **START** 画面を表示する。
2. 「登山・トレッキング」の場合はここで「**GOAL**」をタップし、表示される画面で目標高度を入力し、「**SET**」をタップする。
3. 計測を開始するには「**START**」をタップする。
 - 計測中画面に切り替わります。

参考

- アクティビティアプリの起動中に何も操作せずに約 30 秒が経過すると自動的に画面が暗くなります。明るい画面に復帰するには、タッチスクリーンをタップするか、電源ボタンを押します。
- 計測中で明るい画面の表示中に電源ボタンを押すと、計測を継続したままホーム画面(ウォッチフェイス表示)に戻ります。アクティビティアプリの計測中画面を再表示するには、次の操作を行います。
 1. タッチスクリーンを下から上にスワイプして、アクティビティアプリのカードを表示する。
 2. カードを右から左にスワイプし、表示される画面の【】をタップする。

アクティビティの計測を終了するには

1. 計測中画面の表示中に、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
2. 「STOP」をタップする。
 - 計測が終了し、START 画面に戻ります。

参考

- アクティビティアプリは、計測開始から 20 時間が経過すると自動的に終了します。

アクティビティアプリを終了するには

計測中の場合は計測を終了して START 画面に戻り、タッチスクリーンを左から右に 1 回、または数回スワイプしてホーム画面(ウォッチフェイス表示)に戻ります。

計測中画面の見かた

登山・トレッキング



- ① 60分前と現在の高度差です。計測開始から60分未満の間は、開始時と現在の高度差に基づいて60分間の高度差に換算した値を表示します。
- ② 現在時刻です。
- ③ 入力した目標高度です。
- ④ 目標高度と現在高度の差です。現在高度が目標高度より低いときは“残り”、目標高度を超えると“-”が先頭に表示されます。
- ⑤ 計測開始からの経過時間です。

参考

- 登山・トレッキング画面の①、④を表示するために使われる現在高度を、正確な標高に手動で補正するには、本機のツールアプリに含まれる高度計の機能を使用します。補正の操作については、「[手動で高度補正するには](#)」を参照してください。
- ①の高度差は、計測した気圧を高度に換算した値により算出しています。このため、天候による気圧変化が起きた場合、実際の値とは異なる場合があります。

フィッシング



- ① 最近 10 分間の平均気圧と、その直前 10 分間の平均気圧を比較し、気圧変化を矢印の向きで表します。変化がないときは、矢印は表示されません。数値は現在の気圧です。
- ② 現在時刻です。
- ③ 最近 2 時間の気圧変化を表すグラフです。
- ④ 計測開始からの経過時間です。

サイクリング



- ① 現在の移動速度を時速で表示します。
- ② 現在時刻です。
- ③ 計測開始からの累積移動距離です。
- ④ 計測開始からの経過時間です。

参考

- 速度、移動距離はスマートフォンのGPS機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。
- 速度や距離は一定時間ごとに算出しており、常に現時点での数値を表示しているわけではありません。


カシオ製アプリ/カシオ製ウォッチフェイスの共通設定

カシオ製アプリとカシオ製ウォッチフェイスは、コンパスや高度計など、いくつかの機能を共有しています。こうした機能に関連した、アプリやウォッチフェイスで共通の設定について説明します。

コンパスの磁化補正を行う

コンパスを表示可能なカシオ製ウォッチフェイスの使用時は、必要に応じて磁化補正の操作を手動で開始し、実行することが可能です。

磁化補正を手動で開始するには

1. 「オーセンティック」、「フィールド」、「マルチ」いずれかのウォッチフェイスの表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまで、タッチスクリーンを約2秒間長押しする。
2.  をタップすると表示される設定メニューで「コンパス磁化補正」をタップする。
3. 本機を装着したまま腕を前後左右に振ったり、手首を回す。
 - メッセージとともに表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。
4. 「補正完了」と表示されたら、タッチスクリーンを左から右にスワイプする。

参考

- 上記の手順2で「コンパス磁化補正」がグレイアウト表示になっている（タップしても反応しない）場合は、コンパスの精度が十分高いため、磁化補正が不要な状態です。タッチスクリーンを左から右にスワイプして、設定メニューを閉じてください。

気圧補正を行う

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。手動で補正するには、正確な気圧計で計測した現在の気圧を、下記の操作で入力します。

1. 気圧を表示するカシオ製アプリやウォッチフェイスから、次の操作を行う。

- カシオ製ウォッチフェイスから操作する場合：
「オーセンティック」、「フィールド」、「マルチ」、「コンビ」いずれかのウォッチフェイスの表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまで、タッチスクリーンを約2秒間長押しする。
- ツールアプリまたはアクティビティアプリから操作する場合：
どちらかのアプリの起動中に、「設定」画面が表示されるまで、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。

2. をタップすると表示される設定メニューで「気圧補正」をタップする。


3. 表示される気圧入力画面で、正確な気圧計で計測した現在の気圧を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、 /  をタップして数値を増減します。

4. 入力が済んだら、タッチスクリーンを左から右にスワイプし、設定メニューに戻る。

5. 設定メニューを閉じるには、タッチスクリーンを左から右にスワイプする。

参考

- 手動補正をリセットし、圧力センサーの計測値に基づく気圧表示に戻すには、気圧入力画面で  をタップしてください。

高度補正を行う




高度補正を行うための設定には、「高度補正」と、「高度をロケーションで補正」(Android スマートフォンとの接続時のみ)の2つがあります。

高度補正	手動で現在地の正確な標高を入力することで、本機が表示する高度と実際の標高の誤差を小さくします。現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。登山の途中では、こまめに標高の標識などと本機が示す高度を照らし合わせて、この操作を行うことをおすすめします。
高度をロケーションで補正	スマートフォンの位置情報(GPS)に基づいて自動的に高度補正を行いたい場合には、この設定を「ON」にします。手動で高度補正を行う場合は、この設定を「OFF」にすることが必要です。

参考

- 「高度をロケーションで補正」は、CASIO MOMENT SETTER+アプリがインストールされている Android スマートフォンとの接続時のみ表示されます。
- 「高度をロケーションで補正」を「ON」にしたときの補正機能は、スマートフォンの GPS の受信状態が極めて良好なときだけ動作します。深谷やビル街など、受信状態の悪くなる場所では、「高度をロケーションで補正」を「OFF」にしたうえで、高度補正をこまめに手動で行うことをおすすめします。


手動で高度補正するには

1. 高度を表示するカシオ製アプリやウォッチフェイスから、次の操作を行う。
 - カシオ製ウォッチフェイスから操作する場合：
「高度」、「オーセンティック」、「フィールド」、「マルチ」、「コンビ」いずれかのウォッチフェイスの表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまで、タッチスクリーンを約2秒間長押しする。
 - ツールアプリまたはアクティビティアプリから操作する場合：
どちらかのアプリの起動中に、「設定」画面が表示されるまで、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
2.  をタップする。表示される設定メニューで「高度をロケーションで補正」をタップし、設定を「ON」と「OFF」の間で切り替える（必ず「OFF」に設定してください）。
 - 「高度をロケーションで補正」が「ON」になっていると、手順3以降の操作ができません。
3. 設定メニューで「高度補正」をタップする。
4. 高度の入力画面が表示されるので、現在地の標高を入力する。
 - 数値を変更したい桁をタップし、 /  をタップして数値を増減します。
5. 入力が済んだら、タッチスクリーンを左から右にスワイプし、設定メニューに戻る。
6. 設定メニューを閉じるには、タッチスクリーンを左から右にスワイプする。

重要

- 「高度をロケーションで補正」を「ON」に切り替えると、手動で入力した高度補正の値は無効になります。


手動で入力した高度の補正値をリセットするには

1. 「**手動で高度補正するには**」の手順 1～3 の操作を行う。
2.  をタップする。

重要

- 上記の操作で補正値をリセットすると、本機が表示する高度は国際標準大気 (ISA) の定義に基づく簡易計算値となるため、実際の高度との誤差が大きくなります。リセット後は、再度「**手動で高度補正するには**」の操作を行うことをおすすめします。

スマートフォンの位置情報による高度補正を有効または無効にするには


1. 「**手動で高度補正するには**」の手順 1 の操作を行う。
2.  をタップして、設定メニューを表示する。
3. 設定メニュー内の「**高度をロケーションで補正**」をタップして、設定を切り替える。
 - タップするたびに「ON」(有効)と「OFF」(無効)の間で切り替わります。
4. 設定メニューを閉じるには、タッチスクリーンを左から右にスワイプする。

モノクロ表示の設定を切り替える

本機のモノクロ液晶による表示のしかたを切り替えます。この設定は、次のすべてに共通して適用されます。

- カシオ製ウォッチフェイス「2 レイヤー」のモノクロ表示
- ツールアプリに含まれる全機能のモノクロ表示
- タイムピースモード時のモノクロ表示

モノクロ表示の設定を切り替えるには

1. ツールアプリ、または「2 レイヤー」ウォッチフェイスから、次の操作を行う。
 - 「2 レイヤー」ウォッチフェイスから操作する場合：
「2 レイヤー」ウォッチフェイスの表示中に、ウォッチフェイスが縮小表示されるまで、タッチスクリーンを約 2 秒間長押しする。
 - ツールアプリから操作する場合：
ツールアプリの起動中に、「設定」画面が表示されるまで、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。
2.  をタップして、設定メニューを表示する。
3. 設定メニュー内の「モノクロ表示」をタップして、設定を切り替える。
 - タップするたびに「ダーク」（黒地に白文字で表示）と「ブライト」（白地に黒文字で表示）の間で切り替わります。
4. 設定メニューを閉じるには、タッチスクリーンを左から右にスワイプする。

参考

- モノクロ表示設定の切り替えは、本機をタイムピースモードに切り替える際にも実行可能です。「[本機をタイムピースモードに切り替えるには](#)」を参照してください。

スマートフォンアプリ「CASIO MOMENT SETTER+」を活用する (Androidのみ)

✔ 重要

- Android スマートフォンをお使いのお客様は、本機の機能を 100% ご利用いただくために、必ず CASIO MOMENT SETTER+ アプリをインストールしてください。

参考

- この章では、本機とスマートフォンを操作します。

📱: 本機を操作します。

📱: スマートフォンを操作します。

CASIO MOMENT SETTER+ アプリを使うと、本機の次のような操作をスマートフォンから実行できます。

- ウォッチフェイスの切り替え、文字板の表示内容やカラーの変更
- TOOL ボタンを押すと呼び出されるツールの機能や呼び出し順の設定、各機能の動作設定
- APP ボタンを押すと起動するアプリの選択
- 「MOMENT SETTER」機能を使った通知設定

参考

- CASIO MOMENT SETTER+ アプリは、本機 (WSD-F10) のみでご利用いただけます。

スマートフォンに CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストールする

☐スマートフォンの「Google Play ストア」で「CASIO MOMENT SETTER+」を検索し、インストールしてください。




✔重要

- CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストール直後に起動すると、「時計は準備中です」というエラーメッセージが表示されます。これは、本機に対するシステムインストール(スマートフォンへの CASIO MOMENT SETTER+アプリのインストール時に自動的に行われます)が実行中であることを表します。この間は、本機の画面が黒くなったり、タッチスクリーンの反応が極端に遅くなったりしますが、本機の故障ではありません。このような場合は、しばらく時間をおいてから、CASIO MOMENT SETTER+アプリの起動や本機の操作をお試しください。本機に「インストールが完了しました。」という通知カードが表示されるまで、お待ちください。

ウォッチフェイスの切り替えと詳細設定

カシオオリジナルデザインのウォッチフェイス間での切り替えや、ウォッチフェイスごとの設定変更が可能です。

ウォッチフェイスを切り替えるには

1.  Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+アプリを起動し、「時計」をタップする。
2.  画面左右端の<、>をタップするか、ウォッチフェイスの画像を左右にスワイプして、本機で使いたいウォッチフェイスを表示する。
 - CASIO MOMENT SETTER+アプリで表示されるのは、カシオ製のウォッチフェイスだけです。
3.  「この時計を使う」をタップする。
 - 本機のウォッチフェイスが切り替わります。

ウォッチフェイスの設定を変更するには


1. **Android** スマートフォンで **CASIO MOMENT SETTER+** アプリを起動し、「時計」をタップする。
2. **画面左右端の<,>**をタップするか、ウォッチフェイスの画像を左右にスワイプして、設定を変更したいウォッチフェイスを表示する。
3. **ウォッチフェイスに応じて画面下部に表示される設定ボタン**をタップし、表示される画面で設定を変更する。

ウォッチフェイス	設定ボタン 設定内容
オーセンティック フィールド マルチ	メーターの選択 文字板上のメーター小窓への表示内容を選択します。
	文字板のカラー 文字板の色を選択します。
2 レイヤー	白黒の設定 白地に黒文字、または黒地に白文字の表示を選択します。
世界時計	ホームタウンの選択 ホーム都市を選択します。
高度 コンピ	高度計の設定 現在地の GPS 情報を使って高度(標高)を補正するか、しないかを選択します。

4. **設定を終了するには、画面左端の<**をタップする。

TOOL ボタンとツールアプリの設定

TOOL ボタンを押すと呼び出されるツールアプリの機能選択や呼び出し順の変更、各機能の動作設定が可能です。

1. **Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+ アプリを起動し、「ボタン」をタップする。**
2. **「TOOL ボタン」をタップして、利用可能なツールアプリの機能一覧を表示する。**
 - ツールアプリの機能については、「[ツールを使う \(TOOL ボタン\)](#)」を参照してください。
3. **本機で利用したい機能すべてに を付ける。**
 - 各機能名の左側をタップするたびに、 と の間で切り替わります。
 - 「活動グラフ」に を付けると、「毎日の活動記録を保存」の設定（「[記録の設定](#)」を参照）が無効になっている場合は、設定を有効にしてよいかを確認するダイアログが表示されます。「毎日の活動記録を保存」の設定を有効にして活動グラフを利用するには [了承] を、活動グラフの利用をやめるには [キャンセル] をタップしてください。
4. **機能の呼び出し順を変更するには、機能名を上下にドラッグして移動する。**
 - ここでの設定が完了した後、TOOL ボタンを押したときには、一覧の上から下の順にツールアプリの機能が呼び出されます。
5. **設定を変更したい機能がある場合は、その機能名右側の  をタップして設定画面を表示する。**
 - 次の各機能の動作設定が変更可能です。

機能	設定項目 設定内容
コンパス	コンパスの設定 磁気偏角補正のオン/オフを切り替えます。オンにするとコンパスが指す北方位は真北になり、オフにすると磁北になります。
高度計	高度計の設定 現在地の GPS 情報を使って高度(標高)を補正するか、しないかを選択します。
タイドグラフ	タイドグラフのポイント 潮汐情報の表示対象となるポイント(港)を、一覧表から選択します。
活動グラフ	活動グラフの設定 活動グラフの中央に何の数値を表示するかの指定、消費カロリーを計算するための身体プロフィール(身長、体重)の入力などを行います。

- 変更後の設定を保存して設定画面を閉じるには、画面左端の<をタップしてください。

6. □ 設定を終了するには、画面左端の<をタップする。

参考

- 「高度計の設定」の補正機能は、スマートフォンの GPS の受信状態が極めて良好なときだけ動作します。渓谷やビル街など、受信状態の悪くなる場所では、高度補正をこまめに手動で行うことをおすすめします。








APP ボタンの設定

APP ボタンを押すと起動するアプリを指定できます。

1. Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+アプリを起動し、「ボタン」をタップする。
2. 「APP ボタン」をタップして、本機にインストールされているアプリの一覧を表示する。
3. APP ボタンに割り当てたいアプリをタップし、 を付ける。
4. 設定を終了するには、画面左端の<をタップする。

記録の設定

「活動グラフ」の機能を利用するには、「毎日の活動記録を保存」の設定を有効にしておくことが必要です。この設定を有効にすると、無効な場合に比べて消費電力が増加するため、活動グラフを使わない場合は無効にしておくことをおすすめします。

1.  画面左上の  をタップすると表示されるメニューで、「記録の設定」をタップする。
2.  「毎日の活動記録を保存」の左側をタップして、有効()と無効()の間で切り替える。
 - 活動グラフをオンにしているときに本設定を有効から無効に切り替えると、活動グラフは強制的にオフになります。
3.  設定を終了するには、画面左端の  をタップする。

MOMENT SETTER 機能の活用

MOMENT SETTER は、特定の情報を設定したタイミングで時計に表示させる機能です。この機能は、主にアクティビティアプリを使った計測中に使います。MOMENT SETTER を使うと、例えば次のようなことができます。

- トレッキングの計測中。日の入り時刻の 3 時間前になったら、自動的に時計画面に日の入り時刻を表示させる。
- フィッシングの計測中。釣りに適した時刻の 1 時間前になったら、自動的に時計画面にその時刻 (釣りに適した時刻) を表示させる。
- サイクリングの計測中。走行を停止したら、自動的に時計画面にこれまでの走行距離を表示させる。



それぞれの MOMENT SETTER は、「走行を停止したら、これまでの走行距離を表示」のような「条件と通知内容のセット」でできています。こうしたセットは、「登山・トレッキング」、「フィッシング」、「サイクリング」、「その他」の 4 カテゴリーに分かれています。これから開始するアクティビティに合わせて、画面例のようなリストにチェック (✓) を付けることで、各 MOMENT SETTER をオンにします。



 **重要**

- チェックを付けた **MOMENT SETTER** からの通知を受け取るには、本機のアクティビティアプリを使って、選んだ **MOMENT SETTER** と同じカテゴリーのアクティビティを計測中であることが必要です。ただし、「その他」カテゴリーに含まれる **MOMENT SETTER** の場合は、アクティビティの測定中でなくても、指定条件に合致すれば通知されます。

活用例 1:「登山・トレッキング」の「歩数 1000 歩ごとに、“休憩しましょう”を表示」を使う

1.  Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+アプリを起動し、 をタップする。
2.  「登山・トレッキング」をタップする。
3.  メニューを下スクロールし、「歩数 1000 歩ごとに、“休憩しましょう”を表示」の左側をタップして  を付ける。
 - 条件を変更する必要がない場合は、以下の手順 4 と 5 は省略して構いません。
4.  同じ行右端の  をタップする。
5.  表示される条件設定画面で、歩数と表示メッセージをそれぞれ指定し、決定をタップする。
6.  登山またはトレッキングを開始するときに、本機でアクティビティアプリを起動する。
 - 電源ボタンを約 2 秒間押し続けると表示されるアプリ一覧をスクロールして「アクティビティ」を表示し、タップしてください。
7.  「登山・トレッキング」の START 画面が表示されていない場合は、表示されるまで左から右にスワイプする。

8. [START]をタップする。

- 計測が開始され「登山・トレッキング」の計測中画面が表示されます。
- ここから登山またはトレッキング中の歩数カウントが開始されるので、歩数 1000 歩ごと（または手順 5 で指定した歩数ごと）に「休憩しましょう」というメッセージ（または手順 5 で指定したメッセージ）が本機に表示されます。



9. 電源ボタンを押して、ホーム画面（ウォッチフェイス表示）に戻る。


- アクティビティアプリの計測中画面を表示したままでは、MOMENT SETTER の通知に気づかない場合があります。このため、ここで本機をホーム画面に戻しておきます。
- アクティビティアプリの計測中画面を再表示したいときは、次の操作を行います。
 1. タッチスクリーンを下から上にスワイプして、アクティビティアプリのカードを表示する。
 2. カードを右から左にスワイプし、表示される画面の【】をタップする。

10. 登山またはトレッキングを終了するときに、計測中画面でタッチスクリーンを右から左にスワイプすると表示される画面で[STOP]をタップする。


- 登山またはトレッキング中の歩数カウントが終了するので、このMOMENT SETTERからの通知は来なくなります。

活用例 2:「サイクリング」の「走行を停止したら、これまでの走行距離を表示」

1.  Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+ アプリを起動し、 をタップする。
2.  「サイクリング」をタップする。
3.  メニューを下スクロールし、「走行を停止したら、これまでの走行距離を表示」の左側をタップして  を付ける。
4.  本機でアクティビティアプリを起動する。
 - 電源ボタンを約 2 秒間押し続けると表示されるアプリ一覧をスクロールして「アクティビティ」を表示し、タップしてください。
5.  「サイクリング」の START 画面が表示されていない場合は、表示されるまで右から左にスワイプする。
6.  START をタップする。
 - 計測が開始され、「サイクリング」の計測中画面が表示されます。この時点から、手順 3 で選択した「サイクリング」カテゴリーの MOMENT SETTER からの通知を受け取ることができる状態になります。
 - 自転車の走行を停止するたびに、本機はサイクリング開始からの走行距離を表示します。さらに、画面を左へスワイプすることで、現在地の地図を見ることができます。









7.  電源ボタンを押して、ホーム画面(ウォッチフェイス表示)に戻る。


- アクティビティアプリの計測中画面を表示したままでは、MOMENT SETTER の通知に気づかない場合があります。このため、ここで本機をホーム画面に戻しておきます。
- アクティビティアプリの計測中画面を再表示したいときは、次の操作を行います。
 1. タッチスクリーンを下から上にスワイプして、アクティビティアプリのカードを表示する。
 2. カードを右から左にスワイプし、表示される画面の【】をタップする。

8.  サイクリングを終了するとき、計測中画面でタッチスクリーンを右から左にスワイプすると表示される画面で「STOP」をタップする。

- 「サイクリング」の計測が停止されたので、これ以降は「サイクリング」カテゴリーの MOMENT SETTER からの通知は来なくなります。

活用例 3: 「その他」の「スマホの電池残量が 20%以下になったら、電池残量を通知」を使う

1.  Android スマートフォンで CASIO MOMENT SETTER+アプリを起動し、 をタップする。
2.  「その他」をタップする。
3.  「スマホの電池残量が 20%以下になったら、電池残量を通知」の左側をタップして  を付ける。
 - 条件を変更する必要がない場合は、以下の手順 4 と 5 は省略して構いません。
4.  同じ行右端の  をタップする。
5.  表示される条件設定画面で電池残量の数値 (パーセンテージ) を入力し、「決定」をタップする。

 本機に対する特別な操作はありません。本機と接続中のスマートフォンの電池残量が 20% (または手順 5 で入力したパーセンテージ) 以下になると、本機はスマートフォンの電池残量を通知します。

参考

- MOMENT SETTER からの通知は、一定時間が経過すると自動的に消去されます。
- 速度、移動距離、現在地の検出はスマートフォンの GPS 機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。特に渓谷やビル街、建物内など、受信状態の悪くなる場所では、精度が悪くなります。


タイムピースアプリを使う

タイムピースアプリを使うと、モノクロ液晶で時刻を表示する以外の、本機は一切の機能を停止することができます。この状態を「タイムピースモード」と呼びます。タイムピースモードでは非常に少ない電力しか消費しないため、充電残量の低下を極力抑えたいが時刻だけは表示させたい、という場合に便利です。

✔ 重要

- タイムピースモードでは **Android Wear** としての機能が一切動作しないため、本機のアプリを利用したり、本機から通知を受けたりすることはできません。
- 本機は通常の状態 (**Android Wear** が起動中) のときに、接続中のスマートフォンと時刻合わせを行います。一方タイムピースモードでは、本機の日付時刻に関する各種設定 (タイムゾーンの自動切り替えや、サマータイムの反映を含むスマートフォンとの日付時刻同期設定など) を行うことができません。このため、本機を長期間タイムピースモードのままにしておくと、時刻にずれが生じます。少なくとも数日に 1 回程度はタイムピースモードを終了して、本機とスマートフォンを接続状態にしてください。

本機をタイムピースモードに切り替えるには

1. 電源ボタンを約 2 秒間押し続けると表示されるアプリの一覧で、「タイムピース」をタップする。
 - タイムピースモード確認画面が表示されます。
2. タッチスクリーンを右から左にスワイプして、順次表示される説明を読む。
 - 説明は数ページあります。「設定」画面が表示されるまで、右から左に順次スワイプしてください。なお「モノクロ表示」の設定を変更しない場合は、手順 3 と 4 は省略して構いません。
3. 「設定」画面で  をタップする。

4. 「モノクロ表示」をタップする。

- タップするたびに「ダーク」(黒地に白文字で表示)と「ブライト」(白地に黒文字で表示)の間で切り替わります。
- この設定は、ウォッチフェイスの「2 レイヤー」やツールアプリのモノクロ表示設定と共通です。「モノクロ表示の設定を切り替える」を参照してください。

5. タッチスクリーンを左から右に何度かスワイプし、タイムピースモード確認画面に戻る。

6. タイムピースモード確認画面で をタップする。

- Android Wear の動作が停止してタイムピースモードに入り、モノクロ液晶の時計画面が表示されます。



タイムピースモード中にバックライトを点灯させるには
電源ボタンを短く押します。バックライトが約 2 秒間点灯します。

タイムピースモードを終了するには (Android Wear を起動するには)

電源ボタンを約 2 秒間押し続けます。

モノクロ液晶表示について

本機はカラー液晶とモノクロ液晶の二層構造を備えています。表示にどちらの液晶を使うかは、手動で切り替えることが可能な場合と、自動的に切り替わる場合があります。次のようなときに、本機はモノクロ液晶で表示を行います。

タイムピースモードに切り替えたとき

タイムピースアプリ（「[タイムピースアプリを使う](#)」を参照）を実行して本機をタイムピースモードに切り替えると、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。


表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">• タイムピースモードでは次の操作が可能です。 電源ボタンを短く押す： バックライトが点灯 電源ボタンを長く押す： タイムピースモードを終了して Android Wear を起動• タイムピースモードでは、本機は一切の通知を行いません。

✓ 重要

- 本機の電池残量が0%付近まで低下すると、Android Wear の動作が停止します。この後しばらくの間は、タイムピースモード時と同様の、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。この状態では、電源ボタンの操作は一切できません。ただちに本機の充電を行ってください。充電量が一定のレベルになると、自動的に Android Wear が再起動します。

[2 レイヤー]ウォッチフェイスを選択したとき

ウォッチフェイスとして[2 レイヤー]([カシオ製ウォッチフェイス]を参照)を選択すると、本機を操作していないときに、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">モノクロ液晶表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー液晶表示に切り替わります。カラー液晶で通知カードが表示されている場合は、モノクロ液晶表示には切り替わりません。また、モノクロ液晶表示中に通知が届いた場合は、自動的にカラー液晶表示に切り替わり、通知カードが表示されます。

シアターモードに入ったとき


シアターモード([すべての通知をブロックしバックライトを消灯する(シアターモード)]を参照)に入ると、シアターモードを解除するまでは、常にモノクロ液晶による時刻表示が行われます。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">シアターモードに入ったときは、本機は一切の通知を行いません。また、タッチスクリーンをタップしてもカラー液晶表示には切り替わりません。電源ボタンを押すと、シアターモードは解除されます。

「常に画面表示」を OFF にしたとき

設定の「常に画面表示」(設定を使うを参照)を OFF にすると、次の場合で本機を操作していないときは、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。

- ウォッチフェイスの種類に関わらず、ウォッチフェイスを表示しているとき。
- アクティビティアプリなど、一定時間が経過すると自動的に画面が暗くなるタイプのアプリを起動しているとき。


表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">• モノクロ液晶表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー液晶表示に切り替わります。• カラー液晶で通知カードが表示されている場合でも、モノクロ液晶表示に切り替わります(通知カードは非表示となります)。また、モノクロ液晶表示中に通知が届いた場合、バイブレーションによる通知は行われますが、画面はモノクロ液晶表示のままとなります(通知カードは表示されません)。

✔ 重要

- アクティビティアプリでの計測中にモノクロ液晶の時刻表示に切り替わると、計測中の値は表示されませんのでご注意ください。計測中の値を見るには、タッチスクリーンをタップしてカラー液晶表示に切り替えることが必要です。
- アクティビティアプリの使用時は、「常に画面表示」を ON にすることをお勧めします。


電池残量が5%を切ったとき

電池残量が5%を切ると、現在選択されているウォッチフェイスの種類や表示設定に関わらず、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">モノクロ液晶表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー液晶表示に切り替わります。カラー液晶で通知カードが表示されている場合でも、モノクロ液晶表示に切り替わります(通知カードは非表示となります)。モノクロ液晶表示中に通知が届いても、パイプレーションによる通知は行われず、画面はモノクロ液晶表示のままとなります(通知カードも表示されません)。

本機が半休止モードになったとき

本機が半休止モード(「[半休止モードについて](#)」を参照)になると、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">モノクロ液晶表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー液晶表示に切り替わります。カラー液晶で通知カードが表示されている場合でも、モノクロ液晶表示に切り替わります(通知カードは非表示となります)。モノクロ液晶表示中に通知が届いても、パイプレーションによる通知は行われず、画面はモノクロ液晶表示のままとなります(通知カードも表示されません)。


電池残量不足で Android Wear の動作が停止したとき

電池残量不足で Android Wear の動作が停止した後もしばらくの間は、モノクロ液晶による時刻表示が行われます。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">• この状態は、見かけ上はタイムピースモード（「タイムピースアプリを使う」を参照）と同じですが、電源ボタンによる操作は一切できません。• 本機は一切の通知を行いません。• 本機の充電を行い、充電量が一定のレベルになると、自動的に Android Wear が再起動します。

ツールアプリのカラー表示中に TOOL ボタンを長押ししたとき

ツールアプリ（「[ツールを使う \(TOOL ボタン\)](#)」を参照）のカラー液晶による表示中に TOOL ボタンを約 3 秒間長押しすると、モノクロ液晶による簡易表示に切り替わります（下記は気圧計のモノクロ液晶による表示例です）。

表示	動作
	<ul style="list-style-type: none">• モノクロ液晶表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー液晶表示に切り替わります。

エラーコード/エラーメッセージ一覧

本機の画面に下記のエラーコードまたはエラーメッセージが表示されたら、下表に従って対処してください。

コード メッセージ	対処
1001、1002、1009 正常に充電できません。 このメッセージが繰り返し出る場合はサービスにお問い合わせください。	本機から充電ケーブルを取り外し、電源を切ってから、再度充電を行ってください。充電する際は、必ず本機に付属の AC アダプターと充電ケーブルを使ってください。 同じメッセージ/エラーコードが何度も表示される場合は、充電電池の劣化や故障が考えられます。修理を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
1003 温度上昇のため、充電できません。	本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。
1004 温度低下のため、充電できません。	
9000 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	再起動するには、1 時間以上充電したうえで、画面が白くなるまで電源ボタンを約 12 秒間押し続けてください。
9001、9002、9003 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	修理を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
9010 本体温度上昇・保護のため、電源をオフします。	本機を腕から外し、直射日光の当たらない涼しい場所 (10℃～30℃くらいの環境下) にしばらく放置してください。本機の温度が十分に下がったら、電源を入れることができます。

本機が操作できなくなったら

本機が正常に操作できなくなった場合は、次の手順で本機を再起動してから、再度操作をお試してください。

1. 電源ボタンを約 2 秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. 「設定」→「再起動」の順にタップする。

上記の操作ができなかった場合は、次の操作で本機を強制終了してください(強制終了後、本機は自動的に再起動します)。

1. 本機の画面が白い表示になるまで、電源ボタンを押し続ける(約 12 秒間)。
 - 本機が自動的に起動するまで、しばらくお待ちください。

使用上のご注意

表示情報の精度について

タイドグラフの注意

日本の海域では、海上保安庁水路部発行、書誌 742 号日本沿岸潮汐調和定数表(平成 4 年 2 月発刊)、および気象庁・潮位表掲載地点一覧表(2015 年)から得られる調和定数データを使用して、干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。それ以外の海域では、NOAA, NOAA CO-OPS, or the NOAA Tides & Currents website および、U. S. DEPARTMENT OF COMMERCE / COAST AND GEODETIC SURVEY January 1942 TH-1 から得られる調和定数データを使用して干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。

実際の潮汐現象は天候や季節などさまざまな条件に左右され、計算どおりに規則正しく起こらないこともあり、場合によっては、実際の潮汐とずれてしまうことがあります。このような事情がある為、本アプリおよび時計のタイドグラフ機能は、あくまでも参考程度にしてください。危険を左右する潮汐の判断材料には決して使用しないでください。また、航海には必ず海上保安庁発行の潮汐表を使用してください。

日の出日の入りに関する注意

日の出、日の入り計算は、方位角を北:0 度、東:90 度、南:180 度、西:270 度で行っています。計算結果は数秒ほどの誤差を含み、高緯度ほど誤差が大きくなります。平坦な地平線を想定しており、固有地形は考慮していません。

月齢に関する注意

本機は次の計算に基づいて、月齢を表示しています。

- (1) 関数計算した太陽と月の座標を使って、「離角」を計算する。
 - (2) 「離角」と「平均的な月齢」の相関関係から、月齢を計算する。
- 月齢周期の平均は 29.53 日ですが、実際には±1 日程度の変動があるため、±1 日程度の誤差が生じることがあります。

防水性

本機は5気圧防水の性能を備えており、着用したまま水仕事や水泳をすることが可能です。ただし、次のことにご注意ください。

- 以下のことは避けてください。
 - ウィンドサーフィン、スキンドайビング(素潜り)、スキューバダイビングでの使用
 - 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」ボタンを操作すること
 - 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」本機を充電すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 本機を手につけたまま手洗い、洗顔、家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと
- 水中で使用した場合、タッチスクリーンは動作しません。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 防水性能に問題が生じるため、電池交換の際には必ず「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 本機が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れたりした場合など、外気と本機内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。なお、曇りが消えなかったり、本機内部に水が残っていたりする場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 本機や充電ケーブルが濡れた状態で、充電しないでください。濡れている場合は水分をよく拭き取り、十分に乾いてから充電してください。

MIL-STD-810G

米国防総省が制定した MIL-STD-810G の下記項目に準拠しております。

- 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。
- 正しくお使いいただくために、「**使用上のご注意**」、「**お手入れについて**」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、発熱、発火、感電、傷害、故障の恐れがあります。
- 本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

落下	Method 516.7 Procedure IV に準拠した試験を実施。
振動	Method 514.7 Procedure I に準拠した試験を実施。
湿度	Method 507.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
太陽光照射	Method 505.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
低圧保管	Method 500.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
低圧動作	Method 500.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
高温保管	Method 501.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
低温保管	Method 502.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
温度衝撃	Method 503.6 Procedure I -C に準拠した試験を実施。
氷結	Method 521.4 Procedure I に準拠した試験を実施。

保護シールについて

- 本機の本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールや紙タグが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールや紙タグをはがさずにご使用になると、「本機の本体やバンド」と「シールや紙タグ」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

充電

- 充電中は本機および AC アダプターが若干温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 湿気やほこり、細かな金属異物の多い場所、振動が頻発する場所、固定電話、テレビ、ラジオなどの近くでは、充電しないでください。
- 本機の充電ケーブルは磁気を帯びているため、鉄分を含んだ砂が付着するなどして充電できなくなる場合があります。泥や砂で充電端子やケーブルが汚れた場合、端子とケーブルの砂を十分に取り除いてから充電してください。
- 極端な低温または高温の場所では、充電ができなかったり、100%までの満充電ができなかったりすることがあります。本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。

バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化などにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、本機の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、使用をやめてください。点検、修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。高温によって動作停止した場合は、本機の温度が十分に下がるまでは動作しませんので、しばらくお待ちください。

磁気

- 磁気のある場所では、一部機能が正常に動作しない場合があります。また、極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケースや樹脂バンドに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。
- 充電しないときは充電ケーブルをACアダプターから抜いて保管してください。また、充電ケーブルは磁気を帯びていますので、磁気カード、精密機器、アナログ時計に近づけないようにして保管してください。

樹脂部品

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置したりすると、色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

センサー

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などで突いたり、ゴミ、ほこりなどが入ったりしないようご注意ください。なお本機を海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

金属部品

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- とくどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

液晶表示

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。
- 本機で使用している液晶表示は円形ではなく、円の下側が平らになった形状です。円形のウォッチフェイス等、一部が表示されないデザインもありますが、故障ではありません。

- 本機の液晶パネルは高精度な技術で作られており、有効画素は 99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

お手入れについて

お手入れのしかた

本機は衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ、汗、水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

お手入れを怠ると

さび

- 本機で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、本機の性能が劣化することがあります。

劣化

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

かぶれ

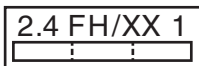
- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に樹脂バンドは、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

無線に関するご注意

- 本機は電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。このため同じ周波数帯を使用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 本機とスマートフォンが別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

以下、ARIB(一般社団法人電波産業会)に準ずる

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は FH-SS、その他の方式を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS、OFDM 方式を採用し、想定される与干渉距離は約 40m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、「お客様相談窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

主な仕様

- 1.32 インチ 2 層構造ディスプレイ、カラー TFT 液晶 (320×300 ピクセル) +モノクロ液晶
- 静電容量式タッチパネル
- センサー: 圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー
- マイクロフォン
- バイプレーター
- バッテリー:

形式:

リチウムイオン電池

充電時間:

常温で約 2 時間 (必ず専用の充電ケーブルと AC アダプターを使用すること)

フル充電からの使用時間 *1:

通常使用時: 約 1 日以上

タイムピースモード使用時: 約 1 ヶ月

- Bluetooth: Bluetooth® V4.1 (Low Energy 対応)
- Wi-Fi (無線 LAN): IEEE802.11b/g/n
- メモリ: 4GB 内蔵メモリ、512MB RAM
- 充電方式: マグネット圧着式充電端子
- ボタン: TOOL ボタン、電源ボタン、APP ボタン
- 5 気圧防水

- 耐環境性能: MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格) 準拠
- 動作温度範囲: 0°C～40°C
- 本体カラー: ブラック/グリーン/レッド/オレンジ
- 時計:
 - 自動時刻修正:
 - スマートフォンとの通信による (手動による時刻修正可能)
 - タイムゾーン (世界時計対応機能):
 - 世界 550 種類以上のタイムゾーンに対応 (2015 年 8 月時点) (スマートフォンとの連携による)
 - 12 時間 / 24 時間切替
 - 自動年月日設定 (フルオートカレンダー):
 - スマートフォンとの連携により自動切替
 - サマータイム対応:
 - スマートフォンとの連携により自動切替
 - ウォッチフェイス種類:
 - 19 種類選択可能 (Google 12 種類、CASIO 7 種類)
- その他機能: ストップウォッチ、タイマー、時刻アラーム ※2 ※3
- ツール App:
 - コンパス (方位計測):
 - 計測範囲: 0 度～359 度
 - 計測単位: 1 度
 - 方位連続計測: 1 分間
 - 北方位指針、磁気偏角補正※4、ベアリングメモリ、傾斜補正

高度計:

計測範囲: -700~10,000m

計測単位: 1m 単位

計測精度: $\pm 75\text{m}$ 以内 (頻繁に補正をした場合)

高度計測間隔: 1 分

高度変化グラフ: 過去 24 時間分

マニュアル高度補正、位置情報による自動高度補正 ※4 ※5

気圧計:

計測範囲: 260~1,100hPa

計測単位: 1hPa 単位

計測精度: $\pm 3\text{hPa}$ 以内

気圧変化グラフ: 過去 24 時間分

気圧計測間隔: 1 分

潮汐とフィッシング ※4:

タイドグラフ: 過去 12 時間 + 未来 12 時間分

フィッシングタイム (現在地と月の時角、月齢を元に計算)

日の出日の入り ※4:

日の出・日の入りの時刻 (現在地の日の出日の入り)

日の出・日の入りの方位: 方位精度はコンパスに準じる

活動グラフ ※4 ※6:

1 日の行動パターン: 静止 / 歩く / 走る / 乗り物

消費カロリー、歩数、高度 (その日の獲得標高)、運動時間

● アクティビティ App ※4:

登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング

● EXILIM Controller App (カメラ連携アプリ):

静止画撮影、ムービー撮影、インターバル撮影、連写撮影、簡易再生

対応モデル: EXILIM EX-FR100

● 画面の明るさの設定: 5 段階

● 時計のバッテリー残量表示: 0~100% 整数値

● スマートフォンのバッテリー残量通知 (Android スマートフォンのみ)

- 充電器 (AC アダプター):

電源:

INPUT: AC 100V ~ 240V 50Hz/60Hz

OUTPUT: 5.0V/1.0A

消費電力: 160mA

- 充電ケーブル:

長さ: 約 0.75m

形状: AC アダプター側 USB A TYPE

- 付属品: 充電器 (AC アダプター)、専用充電ケーブル、クイックスタートガイド、保証書 (クイックスタートガイドに含む)

● MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格):

説明:

- 1: 落下
- 2: 振動
- 3: 湿度
- 4: 太陽光照射
- 5: 低圧保管
- 6: 低圧動作
- 7: 高温保管
- 8: 低温保管
- 9: 温度衝撃
- 10: 氷結

対応項目: MIL-STD-810G, w/change 1

- 1: Method 516.7 Procedure IV
- 2: Method 514.7 Procedure I
- 3: Method 507.6 Procedure II
- 4: Method 505.6 Procedure II
- 5: Method 500.6 Procedure I
- 6: Method 500.6 Procedure II
- 7: Method 501.6 Procedure I
- 8: Method 502.6 Procedure I
- 9: Method 503.6 Procedure I -C
- 10: Method 521.4 Procedure I

諸注意:

本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

● 動作環境 ※7

本機の利用には、以下を搭載したスマートフォンやタブレットが必要です。

Android: Android 4.3 以上を搭載したスマートフォンやタブレット

iOS ※8: iOS 8.2 以上を搭載した iPhone 5 以降のモデル

- 本体サイズ(ボディ部分の縦×横×厚さ): 約 61.7×56.4×15.7mm
- 質量(バンド含む): 約 93g

※1 当社の試験環境による

※2 スヌーズ機能あり

※3 アラーム音は鳴らずバイブレーション通知のみ

※4 iOS は未対応(Android スマートフォンへの CASIO MOMENT SETTER +のインストールが必要)

※5 GPS の高度情報を利用しているため実際の海拔高度や標高とは一致しません。

※6 デフォルトは、OFF

※7 動作確認モデルは Google のチェックページで確認できます。
<https://wearos.google.com/wearcheck>

※8 iOS 利用時は、一部機能が制限されます。

充電式電池の取り扱いについて

✓重要

- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、「修理サービス窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

電池リサイクルのお願い



Li-ion 00

本機が内蔵しているリチウムイオン電池は、貴重な資源です。本機を廃棄する際は、資源リサイクルのため、正しい手順に従ってください。

本機を廃棄する際の手順に関しては、下記のホームページをご参照ください。

<http://support.casio.com/wsd/ja/discard/>

本機を廃棄する前に(個人情報の保護に関するご注意)

お客様の個人情報を保護するため、本機を廃棄する前に必ず次の操作を行って、本機を初期化してください。

1. 電源ボタンを約2秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. 画面を下スクロールして「設定」をタップする。
3. 画面を下スクロールして「スマートフォンとのペア設定を解除」をタップし、確認画面で✔️をタップする。
 - 本機が再起動します。ペア設定解除後の再起動はかなり時間がかかりますので、しばらくお待ちください。

オープンソース情報

当社は GPL、LGPL、その他オープンソースライセンスの適用対象となるソースコードを本製品に利用しています。当社は各オープンソースライセンスの定めに従い、ソースコードを開示しています。ソースコードおよび各オープンソースライセンスの内容については、当社 Web サイトにてご確認ください。ソースコードは現状有姿のまま提供されるものとし、いかなる保証もいたしません。ただし、本製品の不具合(ソースコードに含まれる不具合も含みます)に関する当社による保証条件には影響しません。

商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Android、Android Wear、Google、Google Play、Google Now、およびその他のマークは、Google Inc.の商標です。
- iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- その他この取扱説明書に記載されている会社名、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。

規制情報について

本機は電子的表示の対応装置です。規制情報を表示するには、下記の操作を行ってください。

1. 電源ボタンを約 2 秒間押し続け、アプリの一覧を表示する。
2. 一覧を下スクロールしながら、「設定」→「端末情報」→「規制情報」を順次タップする。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒 151-8543
東京都渋谷区本町 1-6-2

S02_MA2312-B